Equipment Inspection Photo Report

計測最終日 の 朝９時
日本チーム が やって来た。
チャーター艇は 計測後に引き渡すので
セールと 持ち込み装備 のみの計測である。

Royal Varuna Yacht Club
PATTAYA, THAILAND
JULY 11- JULY 21

OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP 2017

タイランド 記

JPN 3211	Kaito IKEDA	池田 海人
JPN 3110	Teruaki SHIMAKURA	嶋倉 照晃
JPN 3325	Shota KOUNO	幸野 翔太
JPN 3176	Shun SHIGEMATSU	重松　駿
JPN 3239	Shoko KITAHARA	北原　頌子

Team leader Hideki KOUNO
Coach Junichiro SHIRAISHI
Country Representative Matsuko KITAHARA
Supporter Naomi SIGEMATSU

IODA 世界選手権 2017／タイ大会

主 催 者 ： 国際OP協会（IODA）　タイ ヨットレース協会　タイ ジュニアセーリング 隊　ロイヤル バルーナ ヨットクラブ (RVYC)

公式日程：2017. 7.11～2017. 7.21（計測／４日　個人戦／６日　チームレース／２日 ）

開 催 地 ： タイ、パタヤ　会場：ロイヤル バルーナ ヨットクラブ　レース海面：タイランド湾　パタヤ沖

参 加 国 ： 世界に IODAメンバーは118国 あり、 そのうちの 62ヵ国から 281艇が参加　注：2016年は 58国／255艇 参加

大会構成： ① 個人戦（IWC）281艇を４つのフリートに分け 予選を5レース以上完了させた時点で
決勝フリートを固定する（ゴールド、シルバー、ブロンズ、エメラルド）。 予選・決勝を合わせて 12 レース
② チームレース（TRWC）参加62ヵ国の予選成績 上位48チーム（国）が２日間で予選・決勝を行う。

IODA 役員 ：会長：**Peter Barclay**（PER）　副会長：Carla Stanley (GBR) ヨーロッパ、
副会長： Nuno Gomes (ANG) アジア、アフリカ、オセアニア

事 務 局 ： Fiona Kidd (CAN)　Susan Elliot Beatty (CAN)

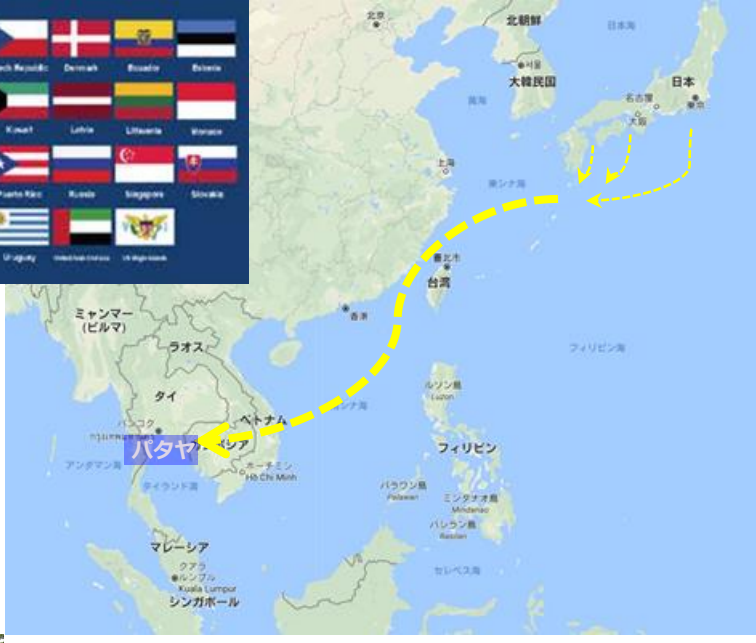
計測委員会 ：Claudio Gustavo Zon (ARG)　Olive Parker (IRL)　Conxa Ontiveros IM（ESP）
Wataru Arakawa IM（JPN）Tetsutaro Muramatsu (JPN)　Hyo-Kyung Jang IM（KOR）

レース委員会 ：David Campbell-James IRO（GBR）

タイ 役員　実行委員長：Jordan Rumsby （THA)

プロテスト委員会：チーフ ジャッジ Luis Ormaechea IJ/IRO (ESP)
チーフアンパイア Chris Atkins IJ/IU（GBR）　Alavaro Robaino Goscia IJ (URU)
Andres Perez IJ (ESP)　Natalia Chubenko IJ (RUS)　Abhimanu Patankar IU (IND)
Sunggchul Jeong IJ/IU (KOR)　Ilker Bayinder IJ (TUR)　Colette Kraus IU (NZL)
Chantal Herberholz (THA)　Rut Subniran IJ (THA) – Jury Secretary

↑ 過去最高の 62ヵ国 これだけ世界の国旗が タイ ワールドに集まる。



私と村松氏は ８日（土）パタヤに到着、９日から IODA計測チーム に合流する。私は慣れたものだが、村松さんは初めての OP World

計 測 開 始

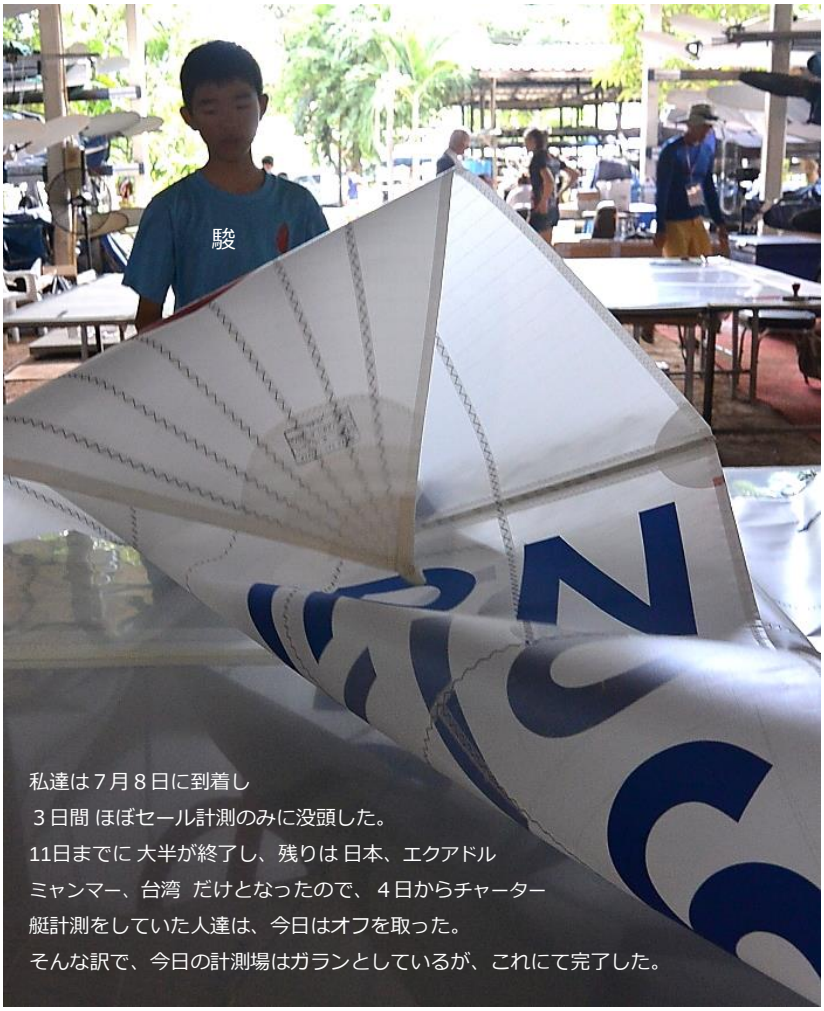
7月／10日（月） Early Arrival & Measurement

計測スタッフたちは １週間も前から計測し、完了した艇を 選手に引き渡すシステムになった。オールチャーターの選手には非常に楽になったが、自分の慣れた装備を望む選手は、計測済みの装備をこの様に戻す。が、この手法は借用艇業者に評判が悪かった。

私達のように 日程通り来た計測員は仕事が 激減した。しかし私達にとっては、３週間も滞在する事は 不可能だ。

← ↑ 村松 哲太郎さんは IM 研修生、既に筆記試験は合格し、あとは ２つの主要国際大会で経験するのみ。

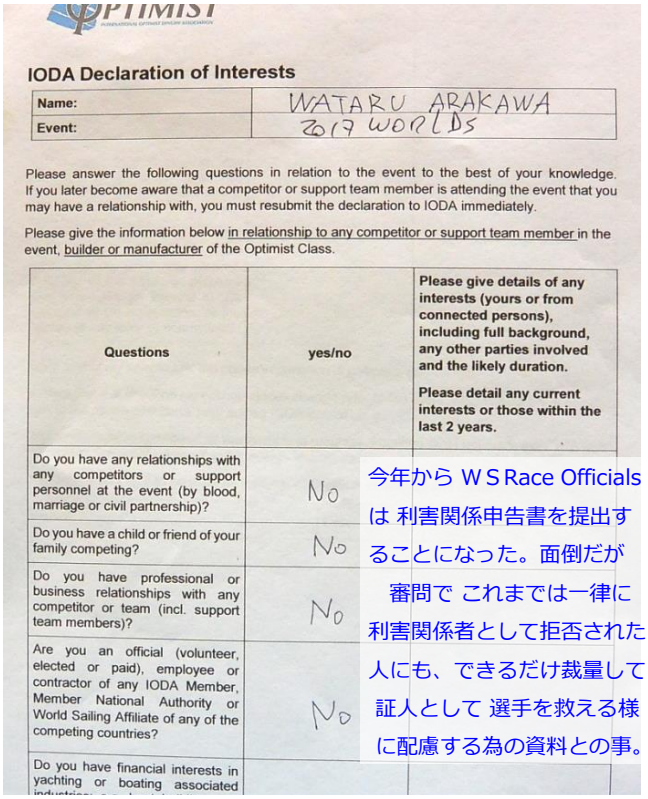
ナヤ（ECU）は この春に日本にＯＰ留学した日系人海陽海洋クラブにいた。



私達は７月８日に到着し
３日間 ほぼセール計測のみに没頭した。
11日までに 大半が終了し、残りは 日本、エクアドル
ミャンマー、台湾 だけとなったので、４日からチャーター
艇計測をしていた人達は、今日はオフを取った。
そんな訳で、今日の計測場はガランとしているが、これにて完了した。

剥して
くれる？

ミャンマーは久しぶりのワールド参加。しかし ＯＰは セールに国旗を 貼る事は 許されない。



OPTIMIST

IODA Declaration of Interests

Name:	WATARU ARAKAWA
Event:	2017 WORLDS

Please answer the following questions in relation to the event to the best of your knowledge. If you later become aware that a competitor or support team member is attending the event that you may have a relationship with, you must resubmit the declaration to IODA immediately.

Please give the information below in relationship to any competitor or support team member in the event, builder or manufacturer of the Optimist Class.

Questions	yes/no	Please give details of any interests (yours or from connected persons), including full background, any other parties involved and the likely duration. Please detail any current interests or those within the last 2 years.
Do you have any relationships with any competitors or support personnel at the event (by blood, marriage or civil partnership)?	No	
Do you have a child or friend of your family competing?	No	
Do you have professional or business relationships with any competitor or team (incl. support team members)?	No	
Are you an official (volunteer, elected or paid), employee or contractor of any IODA Member, Member National Authority or World Sailing Affiliate of any of the competing countries?	No	
Do you have financial interests in yachting or boating associated		

今年から W S Race Officials は 利害関係申告書を提出することになった。面倒だが 審問で これまでは一律に利害関係者として拒否された人にも、できるだけ裁量して証人として 選手を救える様に配慮する為の資料との事。

リフレッシュドリンク

38年前のパタヤワールドは 17か国 78艇でした。
今年は 3.6倍の 62国 3.6倍の 281艇が集合です。
今回は 55回目、そのうちアジアでの開催はパタヤ、横浜、青島、ランカウィ、の４回と今回の 計５回。
これまで 私は 1993年の スペインWorld を始め、フィンランド、エクアドル、スイス、ブラジル、イタリア、マレーシア、ニュージーランド、ポーランド、ポルトガル 、タイ と計11回 のWorld を見てきました。

日の丸と共に、お母さんの 浴衣姿が、ひときわ 日本をアピールしています。

東南アジアで 久々に開催される ワールド、タイの 民族舞踊と音楽の行進です。

日本男児
ここにあり

↑ スクリーンの
JPN 2970が気になり
調べると登録は 鈴木明日美 (横浜)

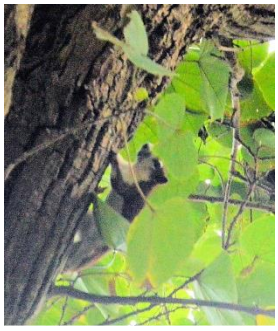
コーチ
国代表
チーム
リーダー
ここが世界の
檜舞台！
立った感想は？

IODA会長
Barclay
↓

VIP達により 大会の　開始を告げる　鐘を高らかに打ち　鳴らす。

ここはタイの国、けれども ホストクラブは
英国風

55年前に創設された オプティミストの理念、蓄積された伝統。
それらが あるものは受け継ぎ、あるものは変わろうとしている。



野趣に
あふれた
海辺の
森の中の
ホテル。
朝食時に
リスが
近付く。

大会支援の海軍が 森に隠れている。↓

運営備品に
M旗がない！
急遽 袋に
手書きする。

翔太 Q１ Yellow 42位

Qualifying Race 1

フリートは70艇を超えるごとに増やす規則なので281艇を４つに分ける。順番は 常に Yellow – Blue – Red – Green 。予選では、できるだけ公平になるように毎日組み合わせが変わるが、決勝は固定、

Yellow（金） Blue（銀） Red（銅） Green（エメラルド） fleet となる。

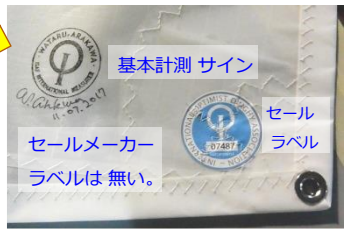
初日の計測艇は
ドライバー付の
FRP艇だったの
で ラバー艇に
替えて
もらう。

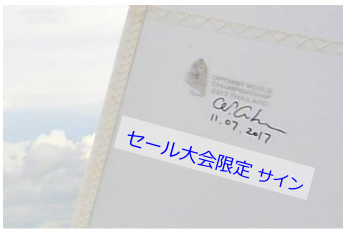
駿
Q１ Red

我々はこの位置にて 待機する。
Finishing line
2nd mark

Red fleet の１番は SGP 119

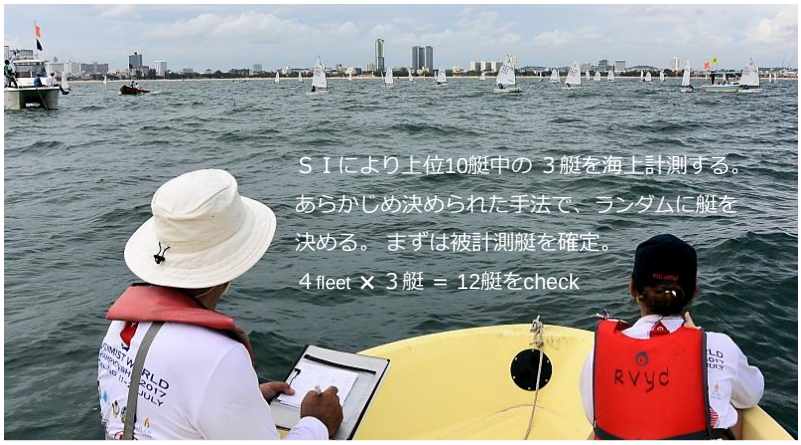
名前は Muhammad Daniel
2016年のアジアオセアニア優勝者
彼の父は 日系人、日本でセール
作りの修行して、OPセールを自作。
私がこの大会で基本計測を行った。
KEI

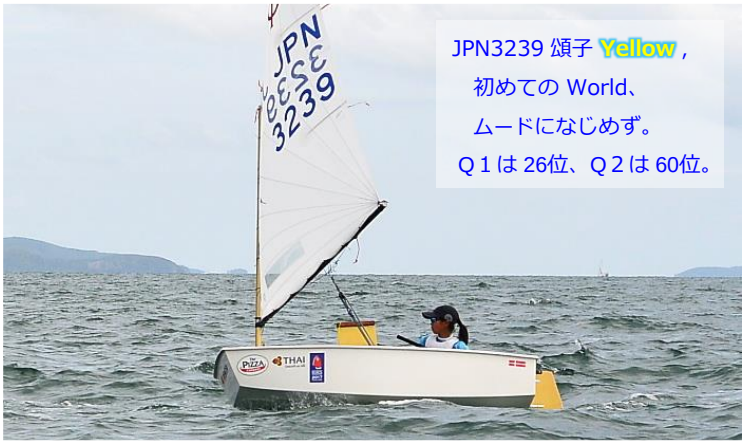

基本計測 サイン
セール
ラベル
セールメーカー
ラベルは 無い。


セール大会限定 サイン

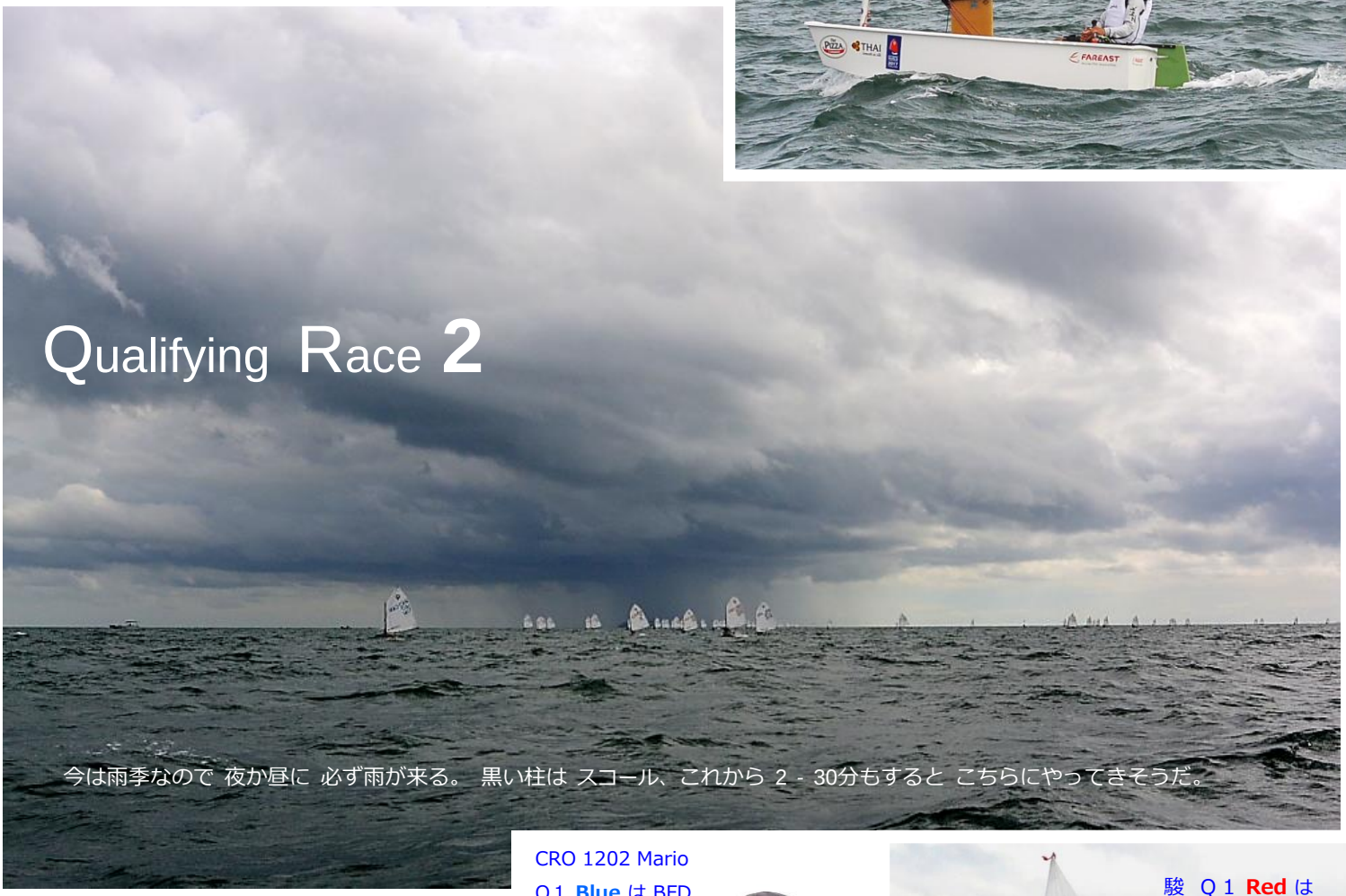
クラス規則に適応して
いるライジャケの
サインを
確認する。
RVYC

ライフ
ジャケット
にサイン
WORLD TEAM


ＳＩにより上位10艇中の ３艇を海上計測する。
あらかじめ決められた手法で、ランダムに艇を
決める。 まずは被計測艇を確定。
４fleet × ３艇 ＝ 12艇をcheck
RVYC


JPN3239 頌子 Yellow ,
初めての World、
ムードになじめず。
Ｑ１は 26位、Ｑ２は 60位。
JPN
3239

PER 113 Adriana
Yellow ７位、嬉しいね
USA
true THAI
Smooth as silk
The PIZZA Company
IDEMITSU



CRO 1202 Mario
Q 1 **Blue** は BFD
Q 2 は 4 位で計測。

Q2 **Blue** フィニッシュライン の 海人。↓見事シングル 7位を取り、海上計測コールされる。

皆からの寄せ書きに背中を押された 大健闘だった。

NED 3255 Olivier Jaquet Ｑ１,Ｑ２ Green
← １位、絶好調!! 最終は８位

ITA 8925 Marco Gradoni は Ｑ１ ２位
↓ Ｑ２ １位、暫定２位 につけている。

フィニッシュの位置が Greenの１～２マークのコースに近すぎる。

雨はないが 突然の激しい風に 慌てて フルハイクの 駿。

駿の次は
PER 304
19位

FRA 2638
21位

GRE 2084
10位 →

CAN 1417 8位

今日は２レースなので これにてハーバーバック。

↓ 最後となった Green は突然の『嵐』をまともに受けて チリジリ バラバラとなった。

Q2 281艇のうち最後の Green 71艇 に不幸が襲う。先行の３フリートには DNFが１艇もなかったが、この嵐 の為に Green だけは フィニッシュで きたのは なんと21艇のみ、後続の50艇は全部 20分の タイムリミットに 引っかかってしまった。 Team JPN の中にGreenは 照晃１艇のみ。

Green
照晃
DNF
残念。

CAPIZZANO 撮影

◇ 初日 暫定順位 1. NED Olivier 2. ITA Marco 3. CHN Haoze 4. CHN 5. CRC 6. CHN 7. THA 8. HUN

JPN ＝ 32. 海人 88. 駿 154. 頌子 186. 照晃 200. 翔太

各フリート順位に４倍をかけると総合順位となり 70位までが ゴールド フリートに進出する。

クウェート
の 選手

◇ 初日 順位

1. NED Olivier　2. ITA Marco　3. CHN Haoze　4. CHN　5. CRC
6. CHN　7. THA　8. HUN　JPN ＝ 32. 海人　88. 駿
154. 頌子　186. 照晃　200. 翔太　各フリートの順位に４倍を
かけると総合順位となり 70位までが ゴールド フリートに進出する。

7月／14日（金）

Day 2

旧友
発見！

IWC Races　IODA Party

母達が 海から
あがってきた、
腰までつかって
日本チームの
出艇を手伝ったそうでした。

計測済みの フォイル
スパー 4組を 計測艇に
交換用として積み込む。

Qualifying Race 3

照晃
20位

今日は 荒海、彼女と
２人きりで乗艇。

艇はFRPから ラバーになった
が ボロ船、エンジン
が調子悪い。

いつものジュリー

Sunggchul Jeong
IJ IU (KOR)

Ilker Bayinder
IJ IRO (TUR)

予選 シリーズ ２日目 第３－４戦

Qualifying
Race 4

イスラエルの Roy Levy 選手、
個人戦 Q４ ５位 総合６位。

こんな小さな boy が ３回も Top
Finishしました。Q3 Q5 Q6です。
（３回 top は彼だけです）

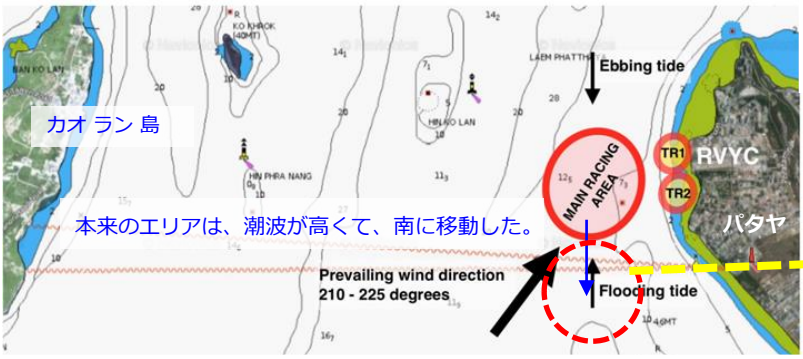
これが Opti World
世界は 広い !!

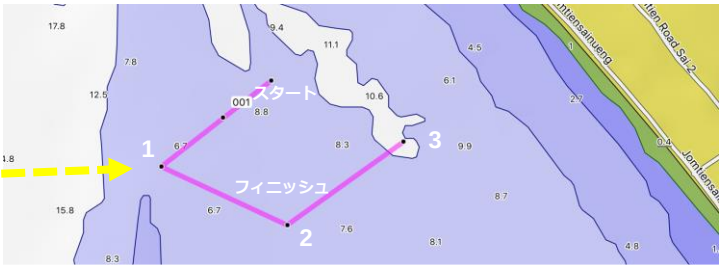
彼女は OPに限らず ヨットの大会を支援して
いるスイス人、今回は計測員。大会Ｔシャツを
器用にかぶって 頭巾としていた。→

翔太

このタイWorldの Race officials体制は しっかりとしていて IJ、IU、計11名は、ほとんどが OP World を何度も経験している。

もう20年も OPのイメージを写真で追及している CAPIZZANO は
「僕は 小さな艇から OPを撮るのが好きなんだ。」と私に言った。
最近はローアングルを狙い、波と選手の表情を重ねる映像が多い。





観覧艇券は 父兄とゲストのために各国２枚が無料で配布される。もし空いていれば早い者勝ちです。

安全規定
20 SAFETY REGULATIONS

B旗 掲揚後、60分以内に コーチ 監督は、全選手の帰着を示すために申告する事。これを怠ったチームは、ジュリーの裁量によりチーム全員にその日の各レースに罰則を与える事が出来る。

浜に打ち上げる大波のために大波乱。

レース艇回収の待ち時間を潰すために白石コーチ達を撮る。
しかしBELのコーチは しっかり時間内の帰着申告をしていた。

選手の回収に全力を尽くすため、我々は後廻しで待機。

日本を含めて13チーム が SI 20.4 の安全規定をすっかり忘れていたために、早速、レース委員会から 抗議される。 逆に 49チーム のコーチは B旗の意味を忘れずに ちゃんと申告した訳だ。

NOTICE TO COMPETITORS No. 9
RACE COMMITTEE PROTEST – SI 20.4

Date July 14 Time 17:52

From Race Committee To All Sailors of CHN, TPE,CRC, EST, INA, JPN, KUW, LAT,LTU,MAC, PER, POL, SLO

As per Sailing Instruction 20.4 Race Committee intends to protest all competitors of the following countries in races 3 & 4:

CHN, TPE, CRC, EST, INA, JPN, KUW, LAT, LTU, MAC, PER, POL, SLO

審問に先立ち、レース委員会とジュリーで話し合いが行われ、コーチ達が上陸できなかった事や、このような レース艇 の発着方法にも 問題があるとして、ジュリーの勧告により、レース委員会は抗議を取り下げた。レース委員長自身も コーチ達には 発着問題を認めて 最大限の努力をすると言っていた。解っていても立場上、抗議せざるを得なかったのだろう、後に ゴムボートの出艇はマリーナを利用するようになった。

PATTAYA's NIGHT IODA PARTY

事務局 スーザン

アル
チャンドラー
村松
さん

国代表
北原さん

事務局長
フィオネ

このパーティーは IODAからの招待状が来た人のみが 参加できます。 それは、国代表、IODA役員、運営スタッフ 等の 特別な人たちです。

7月／15日（土）

Day 3

IWC Races

今日は 私は非番で 海上には出ない。
そこで ゆっくりと ロイヤル バルーナ ヨット クラブ の話をしましょう。
息子がOPを始めて、初めて海外レースに出かけました。
1992年 11月 第３回 OP級アジア選手権。 開催地は ここでした。
中国、香港、インド、日本、韓国、マレーシア、ミャンマー、パキスタン、シンガポール、タイ の 10ヵ国 64艇が参加。
IODA Asia は まだ始まったばかりで、欧米には敗けても OK だが Asia では 勝てる だろうと 油断を

していたら Japan は第１回、２回とも（当時は JPN はなくて J でした）最高４位がやっとの有様、ショックでした。しかし、いずれ勝つ時が来るだろう。 はたして 日本人の誰が IODA レースの 最初の優勝になるのか？と話題でした。RCは レース、ジュリー、計測 の委員長だけがヨーロッパから派遣され、RC艇は漁船型、開会式の夜宴会では 何気にジャングルに入ると重武装の兵士達が潜んでいてビックリ！ まだまだ政情不安の時代でした。

暫 定 成 績

昨日までの４レース結果は右の通り、コスタリカの Micと イタリア の Marco が タイで Micが １位 Marco が同点２位、イスラエルの Roy3位 MAS Muhammad ４位 北米優勝の Stephan は ５位、初日 1-1を取った Olivier ６位、以下 国はバラバラ。日本と言えば エース 海人が ゴールド圏内。例年通りの苦しい 戦いが続く。
Never give up !!

Rank	Nat	SailCode	SailNo	Helm	B/G
1st		CRC	7	Mic Sig Kos Mohr	boy
2nd		ITA	8925	Marco Gradoni	boy
3rd		ISR	102	Roy Levy	boy
4th		MAS	11	Muhammad Fauzi Bin Kaman Shah	boy
5th		USA	111	Stephan Baker	boy
6th		NED	3255	Olivier Jaquet	boy
7th		GBR	6464	William Pank	boy
8th		USA	115	Mitchell Callahan	boy
9th		CHN	265	Haoze Fang	boy
10th		TUR	1903	Umut Kartal	boy
11th		HKG	205	Duncan Gregor	boy
12th		GRE	2084	Odysseas Emmanouil Spanakis	boy
13th		AUT	216	Paul Clodi	boy
14th		POR	2682	Guilherme Cavaco	boy
15th		POR	2434	Beatriz Gago	girl
16th		GER	1211	Mewes Wieduwild	boy
17th		CHI	454	Dante Parodi	boy
18th		THA	77	Saranwong Poonpat	boy
19th		LAT	59	Martins Atilla	boy
20th		SLO	711	Luka Zabukovec	boy
51st		JPN	3211	Kaito Ikeda	boy
81st		JPN	3176	Shun Shigematsu	boy
134th		JPN	3110	Teruaki Shimakura	boy
172nd		JPN	3239	Shoko Kitahara	girl
242nd		JPN	3325	Shota Kono	boy

入ってすぐ左に仏教祭壇があり、きれいな 木造OPが目を引く。1979年のタイ

Worldで使用されたOP艇を彷彿とさせる。

暫定４位の ムハンマド (MAS) と１位の ミック（CRC） 国は 違っても上位同士はすぐに友達になる。

レースは苦戦の連続、チームRでは待機中の日本チームが 最大ライバルの シンガポールを突然応援するのでビックリ、実は 点数計算でシンガポールが対戦相手に勝てば 日本有利と判断していたのです。私にはよくわからなかったけれども日本が優勝したみたいで、周りから祝福され半信半疑でいると監督コーチは浮かない表情。日本 韓国 マレーシア シンガポールが同点で タイの解消に揉めていました。アルチャンドラーは日本が勝ったと激怒。当時は規則が日進月歩の時代で 結局ヨーロッパ方面に問い合わせ日本は４位となった。 個人戦は最後に息子海彦が逆転優勝。我が家の誇りとなりました。

ケビン ウィトクラフト IODA 新会長

― アルバート チャンドラー 第３代 IODA 会長 '85～'89

この年に ここパタヤで 第17回 IODA World 開催

ケビンは 米国生まれで 幼少時に父の仕事でタイに移住して育つ。少年時にOPを始めて チャンドラーの愛弟子となり、史上初のOPセーラー出身の IODA会長 となった。

― ルット サブニラン 国際審判員

タイを代表する IJ 本大会にも参加、ジュリー事務局も兼任する

42条違反 ジュリーレポート

Rule 42
Class: Optimist

Sail num	Infringement Number	Race				
JPN-3211	1	1	42.2(a) - pumping	Two turns penalty	None	Pump 6 / Repea flick of a sail due body pumping
RUS-15	1	1	42.2(d) - sculling	General Recall	None	Repeated scullin the start
MON-1418	1	1	42.2(d) - sculling	Two turns penalty	None	Repeated scullin the start
ITA-8895	1	1	42.2(d) - sculling	Two turns penalty	None	Repeated scullin the start
TPE-618	1	1	42.2(d) - sculling	Two turns penalty	None	Repeated scullin the start
CHN-266	1	2	42.2(d) - sculling	Two turns penalty	None	Repeated force sculling
JPN-3239	1	1	42.2(d) - sculling	Two turns penalty	None	Repeated sculling backing a sail at same time

海人 バンピング 2回転ペナルティ ボディバンプ

頌子 スカリング 2回転ペナルティ

予選 終了

6レース完了により、捨てが 発生、順位が変動、中国勢が 上位 躍進してきた。日本勢 と言えば、海人がまさかの DNE（捨てレースにできない失格）が痛恨の極み、

Sailed: 6, Discards: 1, To count: 5, Entries: 281, Scoring system: Appendix A

Rank	Nat	SailCode	SailNo	Helm	B/G	Fleet	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Total	Nett
1st		ITA	8925	Marco Gradoni	boy	Blue	2	1	(5)	4	1	2	15	10
2nd		ISR	102	Roy Levy	boy	Red	4	(14)	1	5	1	1	26	12
3rd		CRC	7	Mic Sig Kos Mohr	boy	Yellow	8	1	2	1	(11)	2	25	14
4th		CHN	265	Haoze Fang										
5th		CHN	270	Haotian Li										
100th		JPN	3176	Shun Shigematsu	駿 シルバー	boy	Yellow	36	18	11	(42)	20	31	158	116
143rd		JPN	3110	Teruaki Shimakura	照晃 ブロンズ	boy	Red	27	(72 DNF)	20	17	45	41	222	150
147th		JPN	3211	Kaito Ikeda	海人 ブロンズ	boy	Red	17	7	33	25	(36)	72 DNE	190	154
156th		JPN	3239	Shoko Kitahara	頌子 ブロンズ	girl	Green	26	(60)	42	44	31	22	225	165
168th		JPN	3325	Shota Kono	翔太 ブロンズ	boy	Blue	42	59	(65)	57	3	14	240	175

2回目の 42（死に）条違反で、即リタイアすべきところ、フィニッシュしてからリタイアしたとの事、ああ残念 無念。

7月／16日（日）

TEAM Racing WORLD Championship　予選日

Day 4

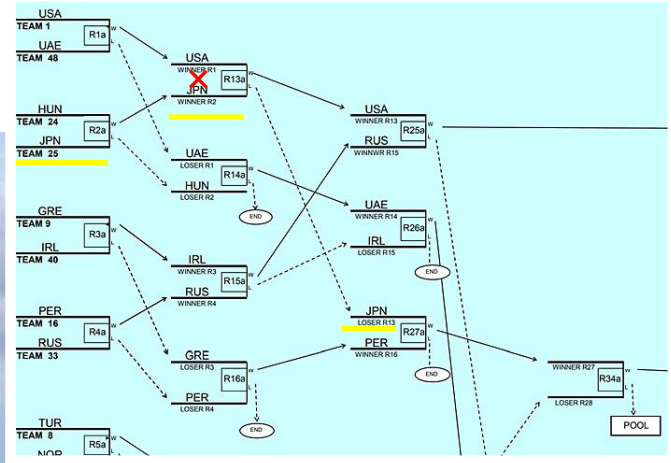
JPN vs USA

個人ではなく、
国のプライドを
かけた戦い。
己を犠牲にして
チームに尽くす。

VS

タイ オプティミスト物語は スーナンさん無しには語れない。 おそらく90歳近い ご高齢と推察するが現在も矍鑠かくしゃくとされている。私が1992年に タイ Asia選手権に来た時にはすでに タイ チームのトップ リーダーだった。その後、どんな IODA大会でも 常に彼が Jr. チームを率いていた。そして2013年の 葉山 Asianにも ご高齢にもかかわらず リーダーを務め、到着早々大会事務局でエントリー料の納入トラブル返還をしたたかに交渉しているので驚いた。 尊敬される方が 下世話な事を部下に任せない。 その人柄に感銘を受けた。

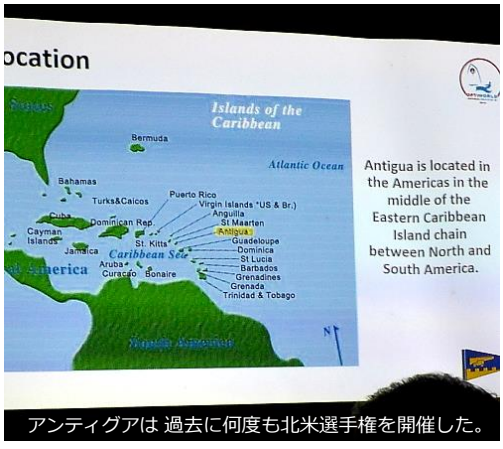
チームレース１日目は Alpha海面（24 team) と Bravo海面（24 team）の 計48か国 が 全62国から個人戦成績で選ばれて戦う、２回負けるとEND。それまでは勝ち進む。**JPN** は 緒戦で ハンガリーに勝ったが **USA**に１敗、次の **ペルー** に２敗して **1** 勝 **2** 敗でストップした。



昨年 優勝チーム **USA**は 今年も最強。０敗のまま この日を終えた。**JPN** も優勝チームと戦えて いい経験をした。

運営艇の配艇は RVYC の Jordan（ドライバー）の仕事、最初は使い者にならないような ヒドイ計測艇だったが日増しに いい艇を調達して 最後は満足した。

２年先の ワールド開催への応募 プレゼンがあった。中国、**アンティグア**、スリランカ が立候補し、**アンティグア** が 仮決定した。 2018年は World キプロス、Asian Oceanian ミャンマー、 Euro オランダ。



7月／17日（月）

Day 5

TEAM Racing WORLD Championship

Final series

今日はチームレースの決勝戦、JPN等の予選に敗れたチームは休息日。

IODA 旗

ここは
南の楽園

IODA Room

IODA 事務局 出張所

なぜか 小さな子が
タイ国旗を掲げて
あるいていた。

筆者

ITA 8730
Massimiliano Antoniazzi
Q 24-23-16-7-26-（42）
予選 75位

D旗が
揚がる。

タイ vs **シンガポール** vs **マレーシア** は宿命のライバル関係にある。アセアン同士の隣国が1,500km 内にありOPで戦う切磋琢磨は お互いを世界上位レベルまで引き上げた。Jimmy Som は ナパッカオの父であり、タイのトップコーチ。私が 2014年 バーレーン**アジア**選手権のチームレース動画（THA vs SGP）をアンパイア艇の前部から迫力撮りして ネットで配信したことがきっかけで、海外で会う度に 会話をした。

今回のタイで 彼とゆっくり話ができるかと期待したが、全くの期待外れ。遠征側では 時間があるが、ホスト側になると仕事が膨大で、 忙しすぎて全く自由時間が取れないのであった。

この 出艇／帰着 方式は かなり危険だった。翌日の AGMで 各国の意見を求めた時には、早速 やり玉に挙がる。代表達は 次々と主催者に不満をぶちまけて一時は収拾が取れなくなった所に、会長の Peter Barclay氏 は『AGMは このような議題を論ずる場ではない』と 上手く舵を切る。　さすが会長。

沖の計測艇までの足舟。

強引に乗り込む。

On the water　Measurement check

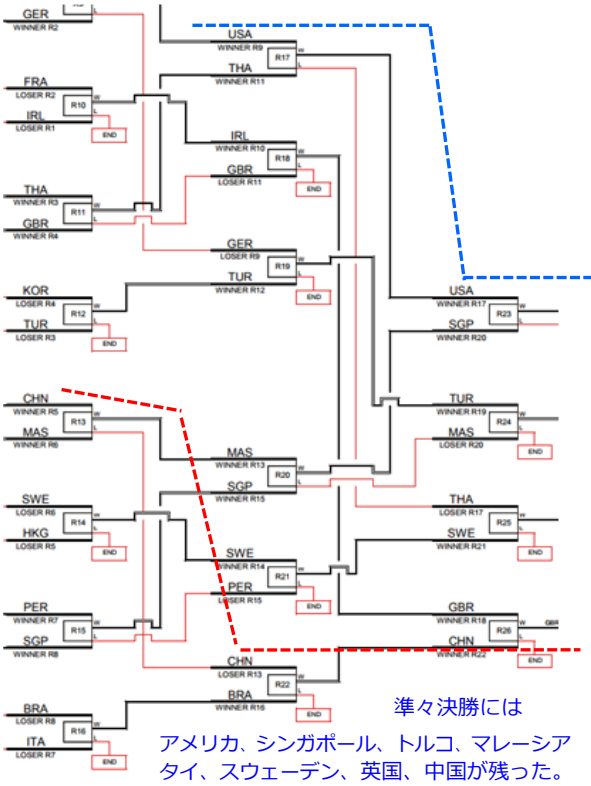
48カ 国の チーム レース予選は 16カ国に淘汰された。通は 個人戦よりも チーム レースの方が **選手権**として格が高いと主張する。
決勝シリーズは１海面となり、
オリーブ、 哲 と
筆者が 担当する。

チーム レースも海上計測は行われる。 しかし即時に、ペナルティを与えて 次の対戦を決めるために 本部船に結果報告する。各チーム１艇づつを選び、点数もシンプルだ。　けれども、わずかに加える この点数によって タイを解く場合もあるし、まれに 勝敗が逆転することさえある。

Sail outside limits
of bands
3 points penalty

IWC とは　INDIVIDUAL WORLD CHAMPIONSHIP の略で、世界選手権個人戦 との意味、チームレース写真だが、個人成績を参考に記す。

チームレースのルールは いたってシンプル。２敗さえしなければ いつまでも 生き残れる。



準々決勝には
アメリカ、シンガポール、トルコ、マレーシア
タイ、スウェーデン、英国、中国が残った。

CHNは粘りの勝利!!　USAは中国に 痛い１敗を喫する。もう海面には 他のOPは帰ってしまう。

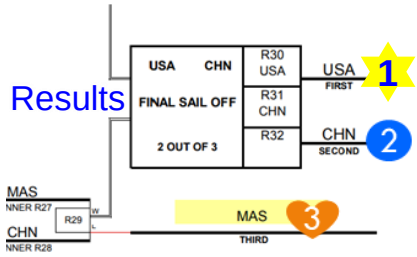
ファイナル セール オフ、政治的にも 2大国の
宿命のぶつかり合い。

USA

スティファン

中国とアメリカの死闘が最後まで
繰り広げられた。

死力を振り絞ったUSAが
最終の勝ちをものにした。


Results
USA CHN
FINAL SAIL OFF
2 OUT OF 3
R30 USA
R31 CHN
R32
USA FIRST 1
CHN SECOND 2
MAS
NNER R27
R29
CHN
NNER R28
MAS THIRD 3

Happy
inspection !
USA

IDEMITSU

おめでとうアメリカ
CAPIZZANO 撮影

歓びあふれる
US OP協会 会長
と彼の 愛息。

今日から個選決勝が
始まるが、国際OP協会の
年次総会（AGM）でもある。

Japan 代表 北原さん。

ヘリテイジ　ホテル

国際OP協会(IODA)の歴史は　年次総会(AGM)とともにある。
1965年創立 会長 Viggo Jacobsen(DEN)以来 Nigel Ringrose (GBR)
Al Chandler (THA)　Helen Mary Wilkes (IRL)　Rene Kluin (NED)
Peter Barclay (PER) と続いた会長職は　任期切れ選挙の年である。

IODA ANNUAL GENERAL MEETING

加盟 118ヶ国 の
委任状を含む出席簿

ECU 代表
スガハラさん

主な 議 題

各所からの 報告事項

① 会長　② 副会長

③ テクニカル委員会

④ レガッタ委員会

財務報告 ― 承認

理事会からの提案

クラス規則改訂 提案

大紛糾や 不測の事態に備えて一応 2日目を予備日 として いるが、出来れば長時間かかっても 1日で終わりたい。

加盟国からの提案

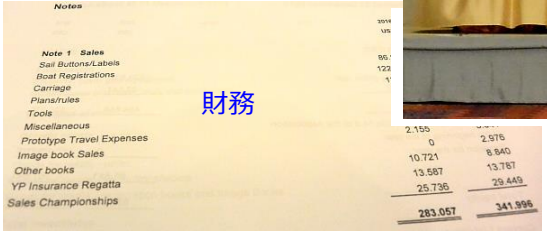
2018 World の確認

2019 World の選定

18-19 各大陸選手権の確認、選定

選挙　会長 副会長

理事 各委員会委員



財務

休 憩

休憩時間に軽食が出る。Far Eastの専務と

投 票

投 票

現会長は 規約で 12年続くと再選ができず、

新会長には Kevin (THI) が 選ばれた。

Euro副会長は 再選ができたが、新たに Carmen (SUI) を選出

7月　（水）
／19日

IWC Races

暫 定 成 績

個人戦（IWC）
６日のうち 昨日で
４日目 **7** レースを
終えた。

４レース後の 中間成績に比べ、コスタ リカの Mic が ３位に落ち、イタリア の Marco が１位、そして 中国チームの躍進が著しい。 中間成績は 最高９位で 20位以内は1名 CHN 265 Haoze のみだったが、２位に上がり、その他 CHN 270 ４位、CHN 2048 10位 と Nation's Cup（国別戦）では ダントツトップ に躍り上った。 私は国順位を重視している。昨年の 中国は チームレースは予選落ち、Nation's Cup は 40位、チームは 4名派遣だった。昨年の王者 USAは N Cup, Team Race共に優勝した。今年 中国は USAに肉薄し Team Raceでタイブレイク、N Cupでは 現在USAを凌駕している。以下イスラエルの Roy 3位→ 5位、MAS Muhammad ４位→ 6位、USAの星 Stephan５位→ 7位、初日に １-１を取った NED の Olivier ６位→11位。 日本と言えば ゴールドなし、シルバー 駿（総合は +71名で 114位） ブロンズ 照晃 145位、海人148位、頌子164位、翔太 191位。

参考： 昨年の **2016** Team Japan は N Cupでは 28位、Team Rは ２勝２敗、IWC は 龍佑が 18位。 さて今年は？

危険なビーチ出艇は 中止され マリーナ出艇となったが。タクシーで２kmが必要となる。

ゴールド フリート

Sailed: 7, Discards: 1, To count: 6, Entries: 71,

Rank	Nat	SailCode	SailNo
1st		ITA	8925
2nd		CHN	265
3rd		CRC	7
4th		CHN	270
5th		ISR	102
6th		MAS	11
7th		USA	111
8th		CHI	454
9th		GBR	6464
10th		CHN	2048
11th		NED	3255
12th		SWE	4733
13th		TUR	1903
14th		USA	113
15th		USA	115
16th		GRE	2084
17th		HKG	205
18th		POR	2434
19th		THA	244
20th		GER	1151

シルバー フリート

Sailed: 7, Discards: 1, To count: 6, Entries: 70,

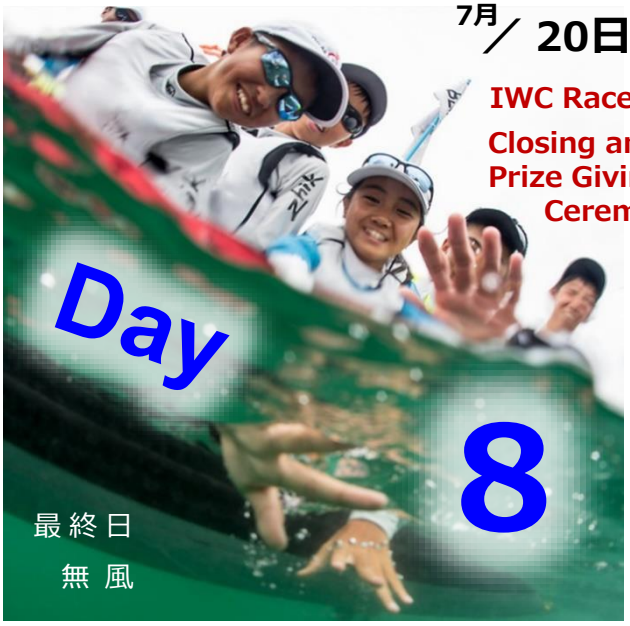
43rd		JPN	3176

ブロンズ フリート

Sailed: 7, Discards: 1, To count: 6, Entries: 70,

4th		JPN	3110
7th		JPN	3211
23rd		JPN	3239
49th		JPN	3325

7月／ 20日（木）



IWC Races
Closing and Prize Giving Ceremony

最 終 日
無 風

今日は 最終日
予選３日 ９Ｒ、決勝３日 ６Ｒ/含むスペア
の計12Ｒだが、遅れており まだ３レース消化されていない。

世界62国からの 281名の若者代表達が 今ここに浮いている。これは世界ジュニアの縮図と言っていい。

その日の最初のレースは 12:00 に予告信号だが 風の気配はなく
回答旗 降下まで じっと我慢の子となる。降りなければ 最終日の
今日は 15:00 以降の予告は揚がらない。あと３時間ここで待つ。

翔太
駿
頌子

韓国
Siyou
Sungc

Finian
Lee
シンガポール

Iason Valiadis
IWC 32 nd
ギリシャ
GRE 2569

INA 2616
Ramadhan
インドネシア
INA 31
Fitriayana

ISR 151
イスラエル
YOGEV ALCALAY

スペイン

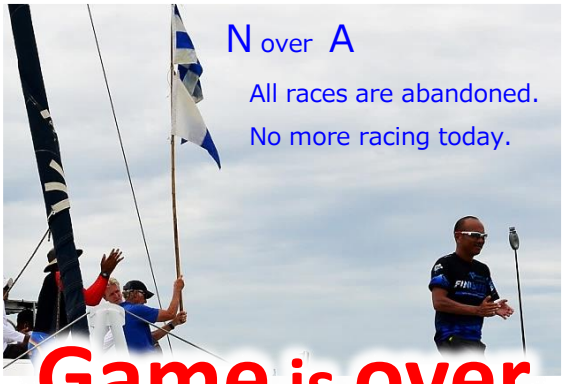
トルコ
TUR

シンガポール

PEL
304
STE
FANO
ペルー
PEL 285
FLORENCIA
PEL 323
MARIA

PEL 323
MARIA
GRACIA

もはや３時間待った。 気の早いコーチはＮ旗が揚がらないのに
OPを曳航し始めた。もうダメ、３レースを残し大会終了のようだ。



Game is over

2017の オプティ **チャンピオン** は
イタリアンちーむ **マルコ** に決定 !!
待ち構えていたプレスが殺到し、
イタリアからの関係者を中心に
お祭り騒ぎが始まった。
日本は38年前に World 初参加して
以来、一度も休むことなく戦って、
また 振り出しの タイに戻ってきた。
ゲーム'**OP**'は 飽きる事がないので
いつまでも 続くことであろう。

Auguri !!

ITA 8925 Marco Gradoni

2 - 1 - 5 - 4 - 1 - 2 - 7 - (13) - 7 = 42→ 29

1st overall

MAS 11

Muhammad

Fauzi Bin

Kaman Shah

16 - 6 - 2

- 1 - (72 BFD)

- 1 - 2 - 12 -

2 = 114→ 42

2nd overall

CRC 7 Mic Sig Kos Mohr 8 - 1 – 2 - 1 –

11 – 2 - 10 - (24) - 10 = 69→ 45

コスタリカ Mic は

初出場にして２日目

暫定首位を取る。

恐るべし。

3rd overall

僅差の得点

		差
1位	29	
2位	42	13
3位	45	3
4位	53	8
5位	55	2
6位	59	4

USA 111 Stephan Baker

7 - 14 - 1 - 7 - 1 - 9 – (30) -

11 - 3 = 83→ 53

4th overall

CHN 265 Haoze Fang

2 - 2 – 6 – 27 - 2 - 5 – 6 – 5

- (47) = 102→ 55

5th Overall

ISR 102 Roy Levy

4 - 14 – 1 – 5 - 1 –

1 - (54) – 21 – 12 =

113→ 59

6th Overall

昨年逝去されたタイ国王の喪章、公的な席では着用が勧められていた。

２日前に就任したばかりのケビン新会長。最初の仕事は閉会式の挨拶。

Red Fleet

Rank	Nat	SailCode	SailNo
1st		PER	113
2nd		NZL	4659
3rd		GER	1176
9th		JPN	3110
18th		JPN	3211
40th		JPN	3239
52nd		JPN	3325

Green Fleet

Rank	Nat	SailCode	SailNo
1st		CRO	1150
2nd		KOR	485
3rd		URU	348

Yellow Fleet

Rank	Nat	SailCode	SailNo
1st		ITA	8925
2nd		MAS	11
3rd		CRC	7
4th		USA	111
5th		CHN	265
6th		ISR	102
7th		CHI	454
8th		NED	3255
9th		HKG	205
10th		THA	244
11th		CHN	2048
12th		CHN	270
13th		THA	168
14th		USA	115
15th		CRC	9
16th		AUT	216
17th		USA	113
18th		SGP	112
19th		GBR	6464
20th		DEN	8583
21st		GRE	2084
22nd		SLO	711
23rd		ESP	2800
24th		ARG	3521
25th		SLO	1212
26th		AUS	1689
27th		SWE	4733
28th		NZL	4658
29th		GER	1151

Blue Fleet

Rank	Nat	SailCode	SailNo
1st		SUI	1840
2nd		MAS	12
3rd		CHN	266
41st		JPN	3176

Nation's Cup Rankings

Rank	Nat	Points
1st	USA	77
2nd	CHN	102
3rd	THA	119
4th	SGP	172
5th	GER	172
6th	ITA	193
7th	MAS	197
8th	SWE	216
9th	AUS	248
10th	TUR	253
11th	GRE	254
12th	SLO	258
13th	NED	261
14th	PER	275
15th	GBR	288
16th	ARG	304
17th	ISR	316
18th	POR	317
19th	BRA	338
20th	NZL	353
21st	SUI	376
22nd	ESP	384
23rd	BEL	389
24th	HKG	405
25th	DEN	461
26th	RUS	464
27th	HUN	479
28th	CRO	485
29th	POL	502
30th	CHI	503
31st	MEX	503
32nd	URU	509
33rd	ISV	539
34th	FIN	567
35th	CRC	582
36th	AUT	589
37th	FRA	596
38th	JPN	602
39th	IRL	608
40th	KOR	631
41st	NOR	676
42nd	BER	696
43rd	OMA	715
44th	MLT	721
45th	LAT	722
46th	INA	760
47th	IND	797
48th	PUR	800
49th	MON	809
50th	CAN	838
51st	UAE	874
52nd	TPE	976
53rd	CZE	1003
54th	RSA	1007
55th	KUW	1014
56th	EST	1020
57th	ECU	1040
58th	MYA	1057
59th	LTU	1081
60th	SVK	1082
61st	AZE	1100
62nd	MAC	1107

ネーションズカップ　国別順位

Best 4 overall results from each Nat

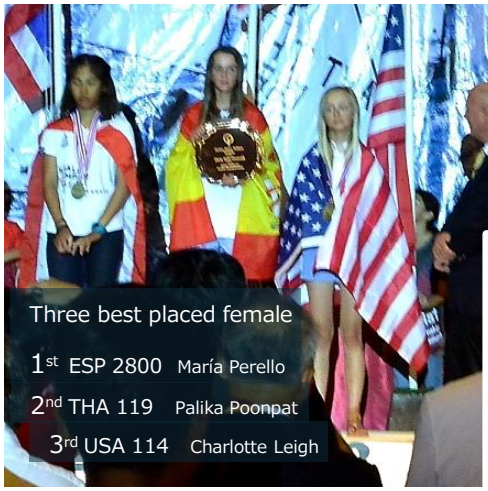
各国チームの上位４選手の合計点で国の強さを競う。この得点数の比較で世界の広さが解る。USAは77点。ベスト８のうち半分はアジアで５番目のAsiaは香港、日本はなんと６番目が現実なのだ。

最初はホスト国に 感謝を込めて 褒章の贈呈

世界選手権は３種目で構成される。

1. IWC, Beacon Challenge Cup
   個人戦
2. TRWC, IODA Challenge Cup
   チーム レース
3. *Optimist Nations Cup*
   個人戦成績による 団体戦

Miami Herald Trophy は 上記の
優勝国チームに贈られる。



今年から トロフィーが 新調された。女子１位の ネーミングは Helen Mary Wilkes 賞。 '89～'98の 12年間 第４代を務めた IODA女性会長 の名前だ。

55th Optimist World Champion

表彰式も いよいよ大詰め、女子優勝は スペイン のマリア（23位、 ２位は 地元タイのパリカ（35位、 ３位は USA の シャーロット（42位、と 意外と今年の女子は奮わなかった。
56年の歴史を持つOP世界選手権、１回キャンセル年があったので、55代 チャンピオン は イタリア マルコ グラドーニ と決定した。イタリアでは19年ぶり 5人目となる。
銀メダルは マレーシア モハンムド、銅メダルは **コスタリカ** の ミック であった。

無名の**コスタリカ**から２名が 初参加、いきなり３位、15位を取り、'18 '19 もWorldに参加しない。OPとは 奥が深くミステリアスだ。

グローバル化 をする とか **ワン ワールド** とかは、"強いモノが勝つ" や 統一される という事ではない。お互いを認め合い。相手を尊重して成り立つこと。62国のそれぞれの人達がOPという文化をかけ橋に競技の形から他者を理解できることは、どんなに素晴らしいのだろう。

日本OP の 皆様へ

1947年フロリダでつつましく始まったOPは、ユース・セーリングに於いて 世界最大のクラスへと成長してまいりました。OP, その素晴らしさは、シンプルさ とワンデザイン（統一された規格）にあります。セーリングという偉大なスポーツへの 第一級の 入門艇として、何世代にも渡り、若者たちにより良くセーリングするための技術だけでなく、人生に於ける身の処し方を教えてまいりました。

自然と関わり、私達が環境とどのように関係しているかを理解し、自然と共存し、共に繁栄する機会は、環境保全の必要性の理解につながります。

OPセーラー達は、幼少期から自立することを学びます。一人で海に出ることは、自尊心と決断力を教えてくれます。 セーリングは、様々な意味で平等の精神を育んでくれる素晴らしい スポーツです。 OP セーラーにとって男女平等は スポーツにとって不可欠な要素であり、選手、ナショナルチーム や OP世界選手権の 優勝者の 女子セーラーの数からも実証されて います。そして OPと共に常に海上での安全重視を学び、身体のトレーニングをし ながら、楽しい時を過ごしています。 セーリングの基礎から競技としてのセーリングまで、フェア セーリングの為のルールと 正しいスポーツ マンシップを学んでいるのです。 OPセー ラーは、世界一のセーラーを目指して努力することも出来るし、ただセーリングを楽しむことも 出来るのです。

しかし、こうしたOPの素晴らしさはメンバーの皆様の力が あってこそ であり、子供たちが OPでセーリングを始めること、そして継続することへの支援をしてきたご両親、海上で 長い時間を共にしてきたコーチたち、そして運営のボラ ンティアの皆様の力によって できたことです。

Kevin Whitcraft
IODA President

編 集 後 記　　優 勝 ト ロ フ ィ ー

1992年のタイ アジア選手権では 今のパタヤとは全く違い、ヨットクラブ施設は再建され、宿泊ホテルも残っていません。そのホテルに到着早々 コーチに水道水を飲んではいけないし 歯を磨いてもいけない。と言われ蛇口をひねると茶色い水。

大きな15ℓボトルが そこら中にあふれていました。 SINGHA WATER と言う水会社の名がこの大会の冠につけられ、当時は 今年のような 豊富な大会スポンサーは全くなく 四半世紀で多くが変わりました。優勝トロフィーは 記念となる左写真と、パリのトロフィー製作会社に注文した、大きくて重い ガラス製の持ち回りトロフィーでした。大会の初日は10ヵ国がてんでんばらばらで 統制のできない雰囲気でしたが計測を行うと 皆がビシッと締まりました。デンマークから IODA計測委員長の アンデルセンさんが一人で来られて、各チームに気軽に話しかけて緊張をほぐしました。アジアでIODA大陸選手権が始まってまだ３回目、まとまりがなかったのです。偉い人がいれば その人に従い、物差しがあれば 基準とすべき 何かがあればいい。その何かとは クラス規則でありそれを指導するアンデルセンさんが偉い人に見えたのです。計測が終わると彼も緊張をしていたのか、両手を大きく振り「 終わった、さあ遊ぶぞー 」と初めて笑顔を見せました。 翌日は予備日で 皆で遊園地に行きました。ゴーカートに乗りケガをした選手もいました園内は 見世物用の象がうろうろしていて、選手たちと同年代の子供達が象使いとして平日に働いており、ヨットができる子と、できないであろう象使いの子との環境ギャップに これでいいのかと一瞬、考えこまされました。我が家に25年間 飾ってある、象が楽しくOPセーリングしているトロフィーを 私は大変気に入っています。

2017. 11.21 一度 編集中断　　再編集 2020. 5. 3 by Wataru Arakawa　編集責任者　荒川　渡